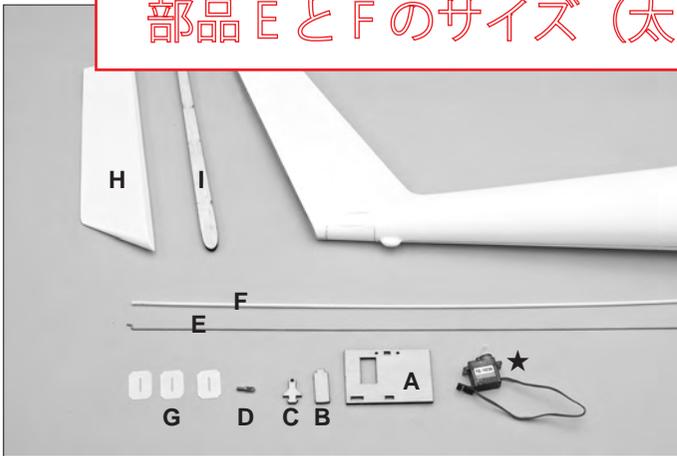


部品 E と F のサイズ (太さと長さ) が違ってきます



[B] サーボマウント取り付け台 (3mmベニヤ) 1
 [C] ガイドパイプホルダー (3mmベニヤ) 1
 [D] コントロールホーン (真鍮製) 1
 [E] $\phi 1.5 \times 1000\text{mm}$ ピアノ線 1
 [F] $\phi 3.5 \times 580\text{mm}$ ガイドパイプ 1
 [G] ヒンジ 3
 [H] ラダー 1
 [I] 胴体後部部品(バルサ) 1
 ★小型サーボ(タマゾーTS-1036) (別売り) 1

RUDDER LINKAGE PARTS

[A] Servo mount (3mm Plywood) 1
 [B] Servo mount support (3mm Plywood) 1
 [C] Guide pipe holder (3mm Plywood) 1
 [D] Control horn (Brass) 1
 [E] $\phi 1.5 \times 1000\text{mm}$ Music wire 1
 [F] $\phi 3.5 \times 580\text{mm}$ Guide pipe 1
 [G] Hinge 3
 [H] Rudder 1
 [I] Fuse. tailend parts(Balsa) 1
 ★Micro Servo(Tahmazo TS-1036) (not included) 1



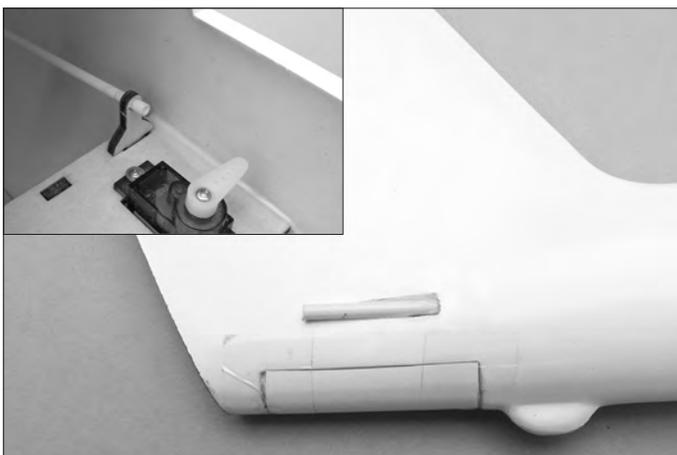
(1)瞬間接着剤HWを使って胴体サーボマウントを写真のように組み立てます。ラダーのサーボを写真の様に搭載します。サーボとサーボマウントを胴体内にはめ込み、エポキシ接着剤で接着します。

Assemble the servo tray as photo and secure with cyanoacrylate. Install the rudder servos. Glue the servo tray inside fuselage with epoxy glue.



(2)胴体のロッド出口に 3.5mm の穴をドリルで開けます。

Drill 3mm hole in the fuse at the pushrod exit.



(3)ガイドパイプを胴体後部から差し込みます。ガイドパイプホルダーでパイプを仮止めします。余分なパイプはカットします。

Install the guide pipe in the fuse. Temporarily put the guide pipe holder on the tube. Glue the guide pipe at the exit of the fuse, and cut off the excess.

■ 重心位置の調整

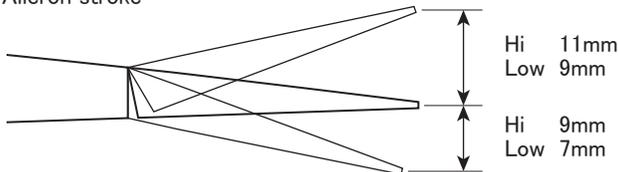
重心位置は指定(中央翼の前縁より後に51~56mm)どおりにして下さい。バッテリーの移動で調整しきれない場合には、鉛の錘などを使用して、必ずこの位置に来るようにして下さい。重心位置がこの範囲にないと、操縦が難しいだけでなく、墜落の原因となります。



■ 各舵角は次の大きさを目安に調整して下さい。

※機体の調整は出来るだけ微風の日を選んで行ってください。
 ※エルロンは送信機のエルロンデファネンシャル機能を使って、必ず上下の差動を付けて下さい。

エルロンの舵角 Aileron stroke



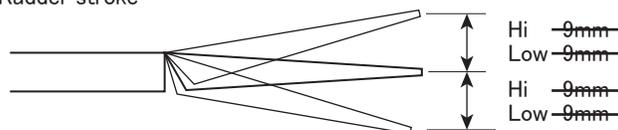
エレベーターの舵角 Elevator stroke



ラダーの指定舵角が誤っています

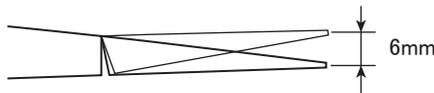
ラダーの舵角 Rudder stroke

ラダーの舵角は、Hi,Lo 共に 20mm にして下さい



■ バタフライミキシング時の舵角 Control throw for Butterfly mixing

エルロンの舵角 Aileron stroke



エレベーターの舵角 Elevator stroke



※ミキシングの量については重心位置など個々の機体によって異なります。上記数値を基準に飛行させながら調整して下さい。

PREFLIGHT CHECKS

(1) Balance

There is a very important relationship between the CG position and the stall characteristics of an airplane performance. An aft CG will make the plane snap roll instead of making a clean stall. To measure the CG position, measure 51-56mm from the leading edge to the wing center.

(2) Control Throws

Connect all of your air born equipment and turn on the radio system. Put your entire trim lever on the transmitter at the neutral position. Then make all of the control surface at neutral position. After connecting the push rods to the servos and control surfaces, check to be sure that the surfaces move the amounts properly which is shown here. The elevator must not move more than 9mm each way. The rudder stroke should be 9mm each right and left and aileron should be 11mm up and 9mm down.

(3) Connect the servos and speed controller to the receiver, and check the operation.

If the motor rotates in the opposite direction, please reconnect two of the three connection lines.

※バッテリーをスピードコントローラーに接続し、動作確認とモーターの回転方向をチェックします。モーターの回転が反対の場合は3本の線の内どれか2本を入れ替えて接続しなおして下さい。

●指定サイズのモーターを使用しましょう。

指定サイズより大きなエンジンを搭載すると機体本来の性能を発機できないばかりでなく、機体の寿命が短くなり、破損にもつながります。指定サイズより大きなパワーのモーターは使用しないで下さい。

●認可周波数の無線機を使用しましょう。

認可されている空域用の電波周波数は40MHz帯が77,79,81,83,85バンドの5種、72MHz帯が17,18,19,20,21,50,51,52,53,54バンドの10種、計15周波数および2.4GHz帯です。必ずこの認可周波数及び出力の無線機を使用して下さい。

●ラジコン保険に入りましょう。

ラジコン飛行機を飛ばすのに特別な免許は必要ありませんが、競技会に出場するにはラジコン操縦士に登録しなければいけません。また万一の事故に備えてラジコン保険に入りましょう。

●初心者の単独飛行はやめましょう。

ラジコン模型は玩具ではありません。人にけがを負わせたり、物品を破損させたりする能力を持つ品物です。操縦も実機と同じシステムが基本です。一人で離着陸できない初心者の方は必ずベテランの方の指導を受けて飛行させて下さい。

●安全を確認しましょう。

模型専用飛行場で飛行する事が最適です。模型専用飛行場でなくても次の条件を満たしている場所が最低限必要です。高压電線が近くにない。民家や工場など建物や道路、線路などが近くにない。半径2km内にラジコン飛行機またはラジコンヘリコプター等を飛ばしている場所がない。飛行範囲になる場所には人がいない。等十分安全を確認してから飛行させて下さい。

本文の一部またはすべての記述について、株式会社OK模型の承諾を得ずに無断で複写、複製することを禁じます。

© COPY RIGHT 2014 OK MODEL CO.,LTD.